

宇部市立小野小学校で森林体験学習を行いました。

令和4年11月24日(木)、宇部市林業研究会が宇部市立小野小学校で森林体験学習を行いました。この活動は森林の役割や森づくりの大切さ、それを支える林業への理解を深めるため、子どもたちを対象に、地域の森林・林業関係者の指導により森林について学ぶ取り組みです。

当日は、3年生から6年生までの児童11名が参加しました。美祢農林水産事務所職員が、森林の働きについての説明を行い、宇部市林業研究会の指導により間伐材を使った小物入れづくりを行いました。児童たちは金槌を使い上手に小物入れを組み立てていました。

そのあとは、子供たちが実を収穫している梅の木を鋸で剪定し、「枝が切れるまでに時間がかかったが、綺麗になってよかった」、「梅の実が沢山採れるといいな」といった感想があり、木材や樹木と触れ合う貴重な体験になったようでした。



小物入れ作りの様子



梅の木剪定の様子